



▲東部里山公園の池で遊ぶ子どもたち



▲5年目を迎えたしいたけ菌打ち体験

地域の話題

田原東部校区

自然に抱かれた安心・安全な郷里

田原東部コミュニティ協議会から
豊かな自然を活かした地域住民の交流活動などについて
お便りが届きました。



田 原東部校区は、豊かな丘陵が広がる自然環境に恵まれた地域です。また、人との結びつき

が強いことも校区の特徴の一つです。平成20年には、御殿山地区に住宅団地が開発され、校区の人口は徐々に増えています。このような環境と人との結びつきを活かし、コミュニティ協議会では住民の交流を図る活動を行っています。

住民が憩い、環境を学ぶ里山

東部里山公園は、里山開発と連動させ、「自然と調和した公園」として整備されました。公園内には、炭焼き小屋やバーベキュー広場などがあり、住民の憩いの場となっています。特に、炭焼き小屋で作られる炭は大変好評です。

また、里山内に遊歩道を整備したことで、体験と参加を通じた自然環境を学ぶ場となっています。

親子で身近な自然にふれる

毎年2月中旬には、田原東部小学校に入学予定の園児と保護者を対象に、しいたけの菌打ち体験を行っています。卒園間近の園児たちにとっては初めての体験。最初は戸惑っていますが、自治会役員や地域の方の手助けで、徐々に笑顔があふれます。この活動は、菌打ちから収穫までの一連の工程を体験することにより、親子のふれあいや食育の一翼を担っています。

心を癒やすホタルの舞

田原東部小学校北側に整備された



バイオ・とうぶ池では、毎年6月になると多数のホタルが舞い、住民の心を癒やしてくれます。新設当初は水温の管理などが難しく、ホタルの幼虫の繁殖に苦労しました。しかし、現在ではホタルの餌（カワナ）が安定して繁殖しており、池はだんだんと自然環境に近づいているようです。今後も、多くのホタルが舞うように環境整備に努めていきます。

みんなが暮らしやすい校区に

田原東部校区は、住民が住んで良かった、暮らしやすいと喜びを感じることのできる校区を目指し、コミュニティ協議会と住民が力を合わせ、今後も校区の魅力向上に取り組んでいきます。



●バイオ・とうぶ